



12月4日・5日に横浜地本会議室において「『現業機関における柔軟な働き方の実現について』を考える意見交換会」を行いました。

① 学習会

「100分で名著『カール・マルクス 資本論』」を使用し、社会の「富」を発展させるために、自分たちは労働力と言う商品売っていることを学びました。また、乗務員・検修職場での今後目指される働き方の一例を出し、「誰のための柔軟な働き方なのか」「労働組合の意味を考えること」を確認しました。



② 意見交換会

職場現実・施策に対する不安や想いを出し合い、議論を深めました。参加者からは、「ワンマン化が進み、車掌は職場がなくなることで不安が大きい。」「1円でも多く稼ぐためイベントをやっているが、若手社員が企画を仕事の合間でやっている。」「検修から違う職種への異動は社員に求めすぎている。」「目的と手段が逆になっている。マイプロや委員会を使用して良くするのに施策が目的になっている。」「乗務員職場や車両センターでもベテランの異動が多発している。教えられる人がいない。その下が育たない。技術がなくなってメンテナンス出来るのか?」「職場を転々とするということは、サービス低下では?熟知している人がいない。」といった意見が出されました。施策実施後でも解明交渉で改善を求めることが出来ることを確認しました。

施策の交渉は社友会には出来ない!

J R 東労組はより良い施策を目指します!